<b>-</b>				_					
科目ナンバー				科目名	英語	英語教育のための文法と談話			
教員名	小林 真記			開講年度学期	202	0年度 後期		単位数	2
概要	授業では、受講生に、何をどう教えるかを考え学んでもらうために、実際に様々な文法指導を学習者として経験してもらい、その都度振り返りを行う。また、授業者として、使用場面や前後の文脈を考慮した文法事項の提示の仕方を実演し、その際に起こったやり取りの談話分析を行い自身の言語使用を振り返る。								
到達目標	本講義では、中学校・高等学校で英語教員を目指す学生のために、コミュニケーション能力育成を主眼に置いた授業実践に必要な英文法の知識とそうした授業実践に必要な素地を養うことを目的とする。特に文法事項の形式と意味のみならず、使用にも焦点を当て、使用場面と機能を考慮した導入の仕方を学ぶ。さらに、コミュニケーション活動における文法指導について学び、フィードバックの役割や仕方に関する理解を深める。								
「共愛12のカ」との	)対応	T		T		1			
識見		自律する力		コミュニケーションカ		F	問題に対応する力		ı
共生のための知識	ì	自己を理解する力		伝え合う力		0 2	分析し、見	思考する力	0
共生のための態度		自己を抑制する力		協働する力		O #	構想し、乳	実行する力	0
グローカル・マイ ンド		主体性	0	関係を構築する	5力	5	実践的ス	キル	0
教授法及び課題の フィードバック方 法									
アクティブラーニン	<b>'</b> グ	サービスラ	サービスラーニング 課題解決		課題解決型	型学修			
受講条件 前提科目	が提 TOEIC500以上 英語で行う様々なグループ活動に、積極的に取り込む意欲のある者								
アセスメントポリ シー及び評価方法									
教材	Murphy, R. (2015). English Grammar in use: A self-study reference and practice book for intermediate learners of English. Cambridge, England: Cambridge University Press. 田中武夫・田中知聡. (2014). 『英語教師のための文法指導デザイン』東京: 大修館								
参考図書	Hughes, G., & Moate, J. (2007). Practical classroom English. Oxford, England: Oxford Universit y Press. Larsen-Freeman, D., & Celce-Murcia, M. (2016). The grammar book: Form, meaning, and use for English language teachers (3rd ed.). Boston,MA: Heinle Cengage Learning. Walsh, S. (2014). Classroom interaction for language teachers. Alexandria, VA: TESOL Press. 卯城祐司 (2014). 『英語で教える英文法: 場面で導入、活動で理解』東京:研究者加賀信広・大橋一人(編)(2017).『授業力アップのための一歩進んだ英文法』東京:開拓社								
内容・スケジュール	,								
1週目									
授業学修内容	コース概要、文法の側面、技術としての文法								
	教科書で指定された箇所の問題を解き、説明できるようにしておく。前回の授 業の内省文を書く。 時間数 2								
2週目									
授業学修内容	文法指導のステップ、関係詞								
	教科書で指定された箇所の問題を解き、説明できるようにしておく。前回の授業の内省文を書く。 時間数 2								
3週目									
授業学修内容 動名詞と不定詞の名詞的用法									
	教科書で指定された箇所の問題を解き、説明できるようにしておく。前回の授 業の内省文を書く。 時間数 2								
4週目									

授業学修内容	不定詞 形容詞的用法&副詞的用法		
授業外学修内 容	教科書で指定された箇所の問題を解き、説明できるようにしておく。前回の授 業の内省文を書く。	時間数	2
5週目			
授業学修内容	仮定法過去		
授業外学修内	教科書で指定された箇所の問題を解き、説明できるようにしておく。前回の授	1 日 米	2
容	業の内省文を書く。	時間数	2
6週目			
授業学修内容	仮定法過去完了		
授業外学修内	教科書で指定された箇所の問題を解き、説明できるようにしておく。 前回の授	時間数	4
容	業の内省文を書く。	YA [4] [**	
7週目			
授業学修内容	中間試験、教室談話の特徴		
授業外学修内	教科書で指定された箇所の問題を解き、説明できるようにしておく。 前回の授	時間数	2
容	業の内省文を書く。	71-130	
8週目	T		
授業学修内容	教室談話と学び	1	
授業外学修内 容	教科書で指定された箇所の問題を解き、説明できるようにしておく。前回の授 業の内省文を書く。	時間数	2
9週目			
授業学修内容	文法導入デモンストレーション		
授業外学修内	教科書で指定された箇所の問題を解き、説明できるようにしておく。 前回の授	時間数	2
容	業の内省文を書く。	时间奴	
10週目			
授業学修内容	文法導入デモンストレーション		
授業外学修内 容	教科書で指定された箇所の問題を解き、説明できるようにしておく。前回の授 業の内省文を書く。	時間数	2
11週目			
授業学修内容	文法導入デモンストレーション		
授業外学修内	教科書で指定された箇所の問題を解き、説明できるようにしておく。 前回の授	時間数	2
容	業の内省文を書く。	时间奴	
12週目			
授業学修内容	タスクを用いた文法指導		
授業外学修内	教科書で指定された箇所の問題を解き、説明できるようにしておく。 前回の授	時間数	2
容	業の内省文を書く。	W [4] [7]	
13週目			
授業学修内容	法助動詞		•
授業外学修内	教科書で指定された箇所の問題を解き、説明できるようにしておく。前回の授	時間数	2
容	業の内省文を書く。	71-720	
14週目	1		
授業学修内容	やり取りの中で行うフィードバックの役割		
授業外学修内	教科書で指定された箇所の問題を解き、説明できるようにしておく。前回の授	時間数	5
容	業の内省文を書く。		
15週目	ENER 1/12 10 - L 70 + - L 1 1		
授業学修内容	談話分析ポスター発表、まとめ	<u> </u>	
授業外学修内 容	前回の授業の内省文を書く。	時間数	2
 上記の授業外学	上修時間の合計	35	
その他に必要な	自習時間	55	

Number	LIN-3-022-e	Subject	Pedagogical English Grammar and Discours e II				
Name	小林 真記(Kobayashi Masaki)		Second semester for 2020	Credits	2		
Course O utline	This course aims to help students wishing to become English language teachers develop their knowledge and understanding of English language grammar and discourse and to provide them with opportunities to experience a variety of communicative tasks and activities designed to promote grammar learning. Morever, the course provides students with tools and knowledge with which to use classroom discourse for learning.						